

# 峰のひかり

発行人

社会福祉法人七峰会  
理事長 大平 和夫

〒036-8356  
青森県弘前市大字下白銀町21番地8  
電話 (0172) 33-8861  
FAX (0172) 33-8862

平成十一年四月二十日「峰のひかり」第一号が発刊され、以来十六年八ヶ月隔月発行をし続け、この度百号を迎える事ができました。事は、ひとえに皆様のお力添えによるものと感謝申し上げます。想い起こせば、この間社会福祉法、介護保険制度が二〇〇〇年（平成十二年）に成立し、続いて障害者福祉については支援費制度となりその後の自立支援法の成立、更にはこれの改正の為に総合支援法と現在に引き続いて参りました。

昭和二十六年成立の「社会福祉事業法」は戦後の日本の社会福祉を大きく進展させて参りましたが、少子高齢化や核家族化により

家庭の保護機能の弱体化、地域コミュニティの劣化、国債依存体質がふくらむ財政の問題等時代の流れ、社会の動向により「社会福祉法」へと大幅に改革をし、そのサービスの基本原理は「尊厳の保持」「自立支援」「良質な福祉サービスの提供」となりました。

七峰会はこの事に対して、高齢者福祉では自立支援介護に取り組み、「おむつはずし」や「食事の経口摂取」「褥瘡の全員完治」や歩行訓練等、全国のプロントランナーとして活躍し、認知症サポーター講習による貢献、弘前市での認知症カフェの開催と先駆的に取り組みを行っています。

障害者福祉においては就労や生



活自立への取り組みや相談支援を強化するとともに重度障害児・者の方たちの為の生活介護や社会生活の充実にも力を入れ、総合的支援のできる地域拠点を目指して参りました。

しかし昨今、一部の経営者の姿勢により社会福祉法人の在り方について問われ、社会福祉法人の改正が行われようとしています。

そこで次回百一号からは、発刊の目的である社会福祉の動向や各施設の事業の紹介、そして職員研修等々専門性のいささかでも香りのある機関紙としての記事をお届けしたいと思っておりますので、今後ともご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます、挨拶と致します。



## サンアップルホームグループ

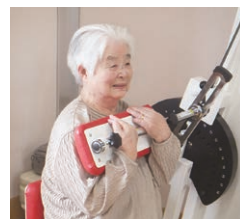
私が、『サンアップルホームデイサービスセンター』に通い始めたのは、70才の頃です。かれこれ20年以上になるので、今、93才です。年取りました。でも、元気に年取っています。「峰のひかり」100号おめでと。新聞を読むのが好きだから、ずっと読んでるよ。いつの間にか、私の年を越してしまっただけ、私も100才を元気に迎えたいと思っています。(サンアップルホームデイサービスセンター 利用者 対馬 周子様)

私の母が『サンアップルホーム』にお世話になったのは、昭和61年7月でした。母が入所し感心した事の一つは、職員の皆さんの元氣溢れる挨拶でした。「ホーム」に入所出来てよかったです、安心したことを今でも覚えています。「うまいものまつり」「納涼祭」「敬老会」等の行事や、職員の皆さんが丸となって取り組んでいる「オムツ外し」や「食事の有り方」についての記事を目にし、入所されている皆さんの笑顔が思い浮かびます。

(家族会会長 藤田 金蔵様)

皆様に支えられて100号を迎えられたことは、大変ありがたく喜ばしい事と思います。これからも色々な情報をお伝えしていきます。

(総合施設長 黒石 陽子)



## 旭光園グループ

『旭光園』に入所してから35年となりますが、生活にも慣れ自分なりに毎日頑張っています。

「峰のひかり」は、自分の暮らしぶりを思い出したり、他施設の様子を知ることができるので、毎回楽しみにしています。これからも日々、頑張っていきたいと思っています。

(自治会長 品川 勲様)

「峰のひかり」第100号おめでとうございます。各グループで行われた出来事等、写真入りで見やすく、分かりやすく作成して下さい。発行するにとっても感謝しています。発行するに当たり、大変な御苦労があると思います。「峰のひかり」第150号200号と長く続きますよう楽しみにしておりますので、今後共よろしくお願ひ致します。

(家族会会長 羽賀 洋子様)

旭光園グループは、今年開設35年目を迎えております。これからも利用者さんの仕事や暮らしが、より良いものとなるよう皆様のご支援をいただきながら発展を目指して参ります。

(総合施設長 油川 瑞緒)



## 山郷館黒石グループ

私は、今年の春からお仕事を始めました。洗濯物をたたむ仕事です。毎日仕事が始まる前には仕事の場所

へ行って準備します。一番嬉しかったことは、生まれて初めて工賃をもたらったことです。

これからもいろいろなことに挑戦します。(利用者 成田 悦子様)

「峰のひかり」発行100号おめでとございます。「山郷館くろいし」にお世話になってから、日も浅い私どもにとつて、二ヶ月に一度、各施設の行事や活動を紹介してくれる広報紙「峰のひかり」は重要な情報紙です。地域に根ざした福祉、入居者が社会の一員として安心して暮らせる施設を目指して日々奮闘されている職員の方々はじめ、七峰会関係者各位の様子がよくわかります。

今後も、最新の福祉情報、各種ニュースを発信し、ますますの紙面充実を期待しております。

(家族会会長 佐藤 道子様)

これまでの歩みを振り返り、改めて、身の引き締まる思いです。

これからも、留まることなく一歩一歩を大切に進めていきます。

(総合施設長 村山 敦子)



### 山郷館弘前グループ

古いものを見ると、たくさんの方の行事を思い出す。車いすで競争した運動会や、劇を発表した文化祭…。みんな若くて、色々な事に挑戦したなあ。今後も私たちの活動を見てほしい。

(利用者 工藤 育子様)

小さい文字は苦手だけど、写真はよく見ているよ。他の施設の行事も楽しそうだね。

(利用者 齋藤 賢治様)

「峰のひかり」100号おめでとうございませう。

息子が『山郷館』で生活してから早いもので8年がたちました。家族旅行では津軽金山焼ではピザ作りに挑戦したこと、東北新幹線をバックに写真撮影したこと、『ねぶたの家ワ・ラッセ』での力強いねぶたを見学したことなど、とても印象に残っています。これからも旅行を楽しみにしています。今後も施設利用者の皆さんが目標を持って健康や身体機能の維持につとめることができるように援助をお願いいたします。

(山友会理事 時苗 絵利様)

『障害者支援施設山郷館』は、地域拠点としての役割を果たし、引き続き地域で生活する障がい(児)者の生活支援に積極的に取り組んでまいります。皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(総合施設長 工藤 伸役)



### 拓光園グループ

今年の納涼祭で開催の挨拶をし、緊張しましたが、失敗せずに出来た事が嬉しかったです。また、ユニットの仲間と音楽を聞いたり歌う事が楽しいです。

(利用者 長尾真由美様)

発行100号を迎える広報紙「峰のひかり」を通じ、これまで様々な情報をお伝えしてきました。今後も、皆様に関心を持っていただける情報発信に努めてまいります。

(総合施設長 工藤 敏夫)

私が拓光園と関わり合いを持つことになってから十年以上になりました。義理の母が亡くなり実家も処分してしまいましたので、『成年後見人』になったのがきっかけです。

ですから、申し訳ないのですが『百号記念』と言われても実感がほとんどどわきません。しかし、昨年『拓友会』四十周年記念行事に参加し、今までの拓光園の歴史につづさに触れることが出来ました。私のようなものでも拓光園の歩みは様々な人達、職員・保護者・園生・支援者の活動の積み重ねによるものと実感出来ました。特にDVDの製作には心からお礼申し上げます。

園の行事に参加し、園生たちと触れ合う中で少しは社会を見る目を広くでき、少しは優しくなれたと思っ

ている今日この頃です。

そのことが何よりも自分にとってラッキーなことです。

(ご家族 齊藤 光正様)

### 拓心館グループ

『拓心館グループ』に来て37年になります。楽しかったことは今年の2月に行ったボーリング。グループホームに入って良かったことは、みんなと話ができること。来年は泳ぎにいきたいです。これからも住宅の

仲間と仲良く過ごしたいです。

(利用者 阿保 弘志様)

常日頃、理事長さん初め、職員の皆様方に支えられ、幸せに生活を送っていることに對し、心から感謝申し上げます。今後も保護者が一丸となり、グループ発展のため力を尽くしたいと思っています。

これからは、保護者も利用者も年々高齢化し、それに伴って、医療機関、また行政等、共に連携をとりつつ、自立訓練や生活の喜び、楽しい場の整備を進めてもらいたいと思いますので、みなさまのご支援、ご指導よろしく申し上げます。

(家族会会長 足田俊一郎様)

隔月の「峰のひかり」が16年を経て100号になりました。創刊は拓心館が地域ニーズ対応に舵を切った時期と重なります。共に歩んだ「峰のひかり」を今後も宜しく申し上げます。

(総合施設長 高橋 正安)



社会福祉法人 七峰会の主なあゆみ

Main timeline table showing the history of the organization from 1972 to 2017. It includes columns for year, month, event name, and category. Key events include the establishment of the organization, the opening of various centers like Daijoushi and Sun Apple Home, and the implementation of various support programs.

総合支援事業

- List of general support services including Daijoushi, Sun Apple Home, and various support centers. Includes contact numbers for each service.

障がい者支援事業

主に知的

- List of support services for intellectual disabilities, including Daijoushi, Sun Apple Home, and various support centers. Includes contact numbers for each service.

主に身体

- List of support services for physical disabilities, including Daijoushi, Sun Apple Home, and various support centers. Includes contact numbers for each service.

高齢者介護事業

- List of support services for elderly care, including Daijoushi, Sun Apple Home, and various support centers. Includes contact numbers for each service.

居宅介護支援事業

- List of support services for home care, including Daijoushi, Sun Apple Home, and various support centers. Includes contact numbers for each service.